

週刊

こんにちは日本共産党です 八千代市議団ニュース

堀口 明子 ☎(752)0453 植田 進 ☎(487)9754
いはら 忠 ☎(488)7207

発行
日本共産党
八千代市議会議員団
八千代市大和田新田
312-5
☎(483)1151

パラシュート降下訓練中、場外降着事故

5月30日のパラシュート降下訓練中の場外降着事故に対し、日本共産党の丸山慎一県議、堀口明子・伊原忠八千代市議、荒原智恵美習志野市議、渡辺優子船橋市議の周辺自治体議員と椎葉かずゆき参議院比例候補ともに、6月5日抗議と要望書提出を行いました。

今回の事故は、降下訓練中に突然風向きが変化し、演習場外の八千代市高津の東洋会・ローズタウンの3カ所に、3人が同時に場外降着事故を起こし、民家のアンテナ・屋根などを損傷、隊員一人が打撲をしたものです。



全国一狭い演習場で繰り返される事故

全国にはパラシュート降下訓練を行っている場所は、習志野演習場含めて7ヶ所です。習志野演習場 221ヘクタール（まわりは民家）、その他6ヶ所は、最大北海道の矢白別 16,815ヘクタールから 最小群馬県の相馬原 904ヘクタールまで（まわりは原野です！）

訓練中止を求め要望書提出

6月5日、防衛大臣あてに提出した要望書の要約は以下の通りです。

今回の事故は一步間違えれば、人命にもかかわる事態になりかねない事故である。

日本共産党はこの間、一貫して習志野演習場が全国の降下訓練実施演習場の中でもっとも狭く、周辺には住宅などが密集し、国道296号線など幹線道路もあるため、もっともふさわしくない演習場であることを指摘し、訓練の中止を求めてきた。

2004年、2006年、2008年、2012年には2回と「場外降着事故」をおこしている。そのたびに防衛省は「今後事故がおきないよう万全の体制をとる」と答えてきたが、何の保障にもならず事故が繰り返されている。

周辺住民はつねにこうした事故の危険にさらされた生活を強いられている。周辺住民の平穏な生活を送るために習志野演習場でのパラシュート降下訓練の中止を強く要求する。